

大宮中学校音楽科《第3学年》年間指導計画

音楽科 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

例：[知]は、「知識・技能」、[思]は、「思考・判断・表現」、[態]は「主体的に取り組む態度」

月	単元名等と配当時数	指導目標	指導内容	観 点	評価規準
4	音楽の決まりを理解しよう ＜2時間＞ 「オリエンテーション」 「校歌写譜」 「リズムドリル」	曲の構成や曲想の変化を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができるようにする。	曲の構成や曲想の変化を感じ取らせながら、曲にふさわしい表現を工夫させる。 リズム 旋律 全音符 付点二分音符 二分音符 付点四分音符 四分音符 付点八分音符 八分音符 十六分音符	知 思	リズムや音の重なり方の特徴から、曲想の変化を感じ取って表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。
5	楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう ＜2時間＞ 「ボレロ」（鑑賞） ＜3時間＞ 「歓喜の歌」（歌唱）	曲想と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴とほかの芸術との関わりを理解するとともに、曲に対する評価とその根拠について考える。	音楽を形づくっている諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じさせる。 リズム 旋律 強弱 音色 構成	技 思	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。
6	声や体を使ってアンサンブルを楽しもう ＜3時間＞ 「Clapping Quartet」	声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏することができるようにする。	リズムの役割と全体のグルーブとの関わりを理解して、合わせて演奏させる。 リズム 強弱 構成	判 技	声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫している。 リズムを演奏するために必要な基礎的な知識と技術を身に付けて演奏している。
7	混声合唱を表現豊かに歌おう ＜6時間＞ 「課題曲」 「自由曲」	声部の役割と全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようにする。	- 曲のしくみを理解して表現を深めさせる。 - 強弱の変化を生かして合唱させる。 旋律 強弱 音色 速度	技 思 態	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
9					
10					
11	楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう 「フルタバ（モルダウ）」 ＜3時間＞	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えをもち、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	生活や社会における音楽の意味や役割について考えながら、交響詩の良さや美しさを味わって鑑賞させる。 リズム 旋律 強弱 音色 形式 構造 速度	知 思 態	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
12	芸術と著作権 ＜4時間＞	楽曲の雰囲気や特徴を感受し、音楽の諸要素を理解して文章で表現する。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴き、言葉で説明させる。	知 思 態	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1	西洋音楽史 「バロック時代～ロマン派時代まで」 ＜6時間＞	それぞれの時代の音楽を形作っている要素が生み出すよさやおもしろさなどを感じ取る。	各時代の音楽の特徴や響きを味わいながら、音楽の変遷を歴史とともに感じ取らせる。	知 態	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2					
3	感謝の気持ちを合唱で届けよう ＜6時間＞ ・式歌	- 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようにする。 - 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようにする。 - 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようにする。	- 歌詞の内容や曲想を感じ取りながら思いや意図をもって歌わせる。 - 曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。 - 声部の役割を知覚させ、全体の響きを感じ取りながら歌わせる。 音色 速度 旋律 テクスチャ 強弱 構成	技 態	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。